第 2 号議案

事業計画書

- 平成 26 年度 -

(第6期)

自:平成26年4月1日

至:平成27年3月31日

1 基本方針

「オープン CAE に関する技術情報の共有を進める」および「オープン CAE に関する普及活動を展開する」を実現するために、以下の活動を行う。

1. Verification and Validation について

Verification and Validation (V&V, 検証と妥当性確認) が重要となってきていることから, SIG (Special Interest Group) で行なっている各種 OpenCAEソフトの V&V 活動を推進する。

2. 書籍出版について

OpenFOAM 入門書籍の出版を推進する。

3. 他学会との交流連携について

OpenCAE ソフトの広がりを鑑み、他学会との交流連携をすすめる。

4. オープン CAE ソフトウェアについて

各種オープン CAE ソフトウェアについて、講習会の開催など、技術習得の機会を作るとともに、事例 発表するなどして会員相互の利益向上を図る。また、有益な情報を発信するなど、CAE 分野の発展に 寄与する。

- 5. アジア・環太平洋地域での OpenFOAM コミュニティ形成の動きに賛同し、コミュニティへの 参加、コミュニティが行うワークショップ等への協力と参加、コミュニティ Web ページ作成・運営への協力などを積極的に推進する。
- 6. オープン CAE の実践的で高度な活用を目指すために、基盤技術としての並列処理や、商用プリポストツールの連携など、オープン CAE の多面的な活用を目指して講習会などを企画する。
- 7. 地域のオープン CAE 勉強会との支援連携を進める中で、草の根的な活動の成果を広域に情報発信 するための仕組み作りを目標とする。

2 事業活動計画の概要

前述の基本方針に沿って,以下のような事業活動計画を策定した。

2.1 第5回定時社員総会

開催日時 平成25年6月21日(土曜日)16:40~18:00

開催場所 ルーテル市ヶ谷センター

議事 報告事項 第1号報告『平成25年度事業報告』

決議事項 第1号議案 『平成25年度決算報告』

第2号議案 『平成26年度事業計画』

第3号議案『平成26年度収支予算』

第4号議案『平成27年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

理事会報告他

2.2 公益目的事業

2.2.1 オープン CAE 講習会及び社員総会の開催

開催日時 平成26年6月21日(土)

開催場所 ルーテル市ヶ谷センター

プログラム概要

定時社員総会, 講習会, 懇親会

2.2.2 オープン CAE シンポジウム 2014 の開催

以下を予定する。

- 開催日時 平成 26年11月13日(木), 14日(金)
- 開催場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

2.2.3 サマースクールの開催

以下を予定する。

- 開催日時 平成 26 年 8 月 29 日(金)~31 日(日)
- 開催場所 京都トラベラーズ・イン

2.2.4 講習会の開催

総会の併設形式やオープン CAE シンポジウムにおいて、オープ CAE ソフトウェアや並列計算技術等についての講習会を実施する。また学生向けのサマースクールや地方での講習会なども企画するなお具体的な内容については、都度、大会実行委員会で検討し決定する。また会員の要望等により、別途、単独での講習会も企画する。

2.2.5 ホームページの拡充

学会 WEB に全会員のアカウントを作成を完了しており、アジア・環太平洋地域 OpenFOAM コミュニティ向けのページを作成するなど、さらに拡大・充実を図る。また、会員向けのニューズレターを発行し、メール配信による広報を充実させる。

2.2.6 会員サポート

当学会公認の勉強会 (OpenCAE 勉強会) など会員の自主的な活動に対し, 助言者の紹介や学会ホームページ内に専用 Web ページを設けるなど, 積極的なサポートを行う。

2.2.7 他学会との交流

オープン CAE の普及を目的として他の学会等で講演を行うなど、他学会等との交流を進める。

2.3 収益事業

2.3.1 出版事業

OpenFOAM(R)ユーザガイド和訳 Version 2.2.0, OpenFOAM (R) プログラマズガイド和訳 Version 2.1.0 の製本販売を継続する。

2.3.2 DVD 事業

DEXCS2014 for OpenFOAM (R) 特別版の DVD 版を製作販売する。

2.3.3 講師派遣事業

当学会ホームページに、講師派遣の可能なテーマや事例等を掲載し、企業等の個別講習会開催の要望に 積極的に対応していく。